

JENESYS2017 招へいプログラム SAARC 第1陣の記録

対象国：SAARC 7 か国

テーマ：経済協力

プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として、SAARC7 か国より高校生、大学生、及び、社会人計 109 名が 2017 年 11 月 27 日～12 月 5 日の日程で来日し、「経済協力」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、「経済協力」をテーマに、都内及び地方におけるテーマ関連講義の聴講、関連施設の視察、文化体験、ホームステイ、ワークショップを行いました。

A グループは青森県を訪問し、八戸市内での企業視察、学校交流、八幡馬絵付け体験を行いました。また南部町を訪問し地域概要の講義を聴講しました。B グループは、福島県を訪問し、福島県庁への表敬訪問、企業視察、学校交流などを通じて、震災からの復興を目指す地域の取り組みを実体験しました。C グループは、秋田県を訪問しました。秋田県庁への表敬訪問、企業視察、学校交流を行いました。D グループは広島県を訪問しました。地元企業への視察に加え、原爆ドーム・平和記念公園を訪れ、平和の尊さを実感していました。E グループは長崎県を訪問し、平和公園・長崎原爆資料館を視察し、平和への願いを新たにしていました。また、地元企業への視察、学校交流、文化体験を通して、地域の特色を肌で感じ取っていました。

また、日本人との交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

109 名（インド 16 名、スリランカ 16 名、ネパール 13 名、バングラデシュ 16 名、パキスタン 16 名、ブータン 16 名、モルディブ 16 名 ※50 音順）

【訪問地】5 地域

東京都（全員）、青森県（22 名）、福島県（22 名）、秋田県（32 名）、広島県（15 名）、長崎県（18 名）

2. 日程

11 月 26 日（日）/11 月 27 日（月）来日

11 月 27 日（月） **【防災関連施設視察】** 東京消防庁本所防災館（バングラデシュ、ネパール）

【都内視察】 皇居（インド、ブータン、バングラデシュ、ネパール）

【オリエンテーション】

11 月 28 日（火） **【最先端技術視察】** A, B, C グループ：TEPIA 先端技術館

D, E グループ：パナソニックセンター東京リスーピア

【日本理解講義／基調講演】

11月29日（水）～12月3日（日）

5つのグループに分かれ、

A グループは、青森県を訪問

B グループは、福島県を訪問

C グループは、秋田県を訪問

D グループは、広島県を訪問

E グループは、長崎県を訪問

(1) A グループ：青森県

11月29日（水） 【地方自治体表敬訪問】【地域概要講義】 南部町

11月30日（木） 【地域産業・企業視察】Yahoo!株式会社・八戸センター
【学校交流】八戸学院大学

12月1日（金） 【文化体験】八幡馬絵付け体験
【自然体験】ドライフラワー工作体験
【ホームステイ対面式】 南部町

12月2日（土） 【ホームステイ】

12月3日（日） 【ホームステイ歓送会】
【ワークショップ】

(2) B グループ：福島県

11月29日（水） 【地方自治体表敬訪問】【地域概要講義】 福島県庁
【地域産業・企業視察】 日本銀行福島支店

11月30日（木） 【地域産業・企業視察】 株式会社ヤクルト本社福島工場
【文化体験】 安達ヶ原ふるさと村 和紙工芸体験
【環境関連施設視察】 環境創造センター・コミュニティ福島

12月1日（金） 【学校交流】 日本大学工学部
【地方自治体表敬訪問】【地域概要講義】 喜多方市役所
【ホームステイ対面式】 喜多方市

12月2日（土） 【ホームステイ】

12月3日（日） 【ホームステイ歓送会】
【ワークショップ】

(3) C グループ：秋田県

11月29日（水） 【地方自治体表敬訪問】 秋田県庁
【地域概要講義】 秋田県企画振興部国際課

11月30日（木） 【学校交流】 ノースアジア大学
【地域産業・企業視察】 秋田酒類製造株式会社

12月1日（金） 【地域産業・企業視察】 株式会社わらび座
【自然体験】 田沢湖畔
【ホームステイ対面式】 仙北市

12月2日（土） 【ホームステイ】

- 12月3日(日) 【ホームステイ歓送会】
【ワークショップ】
- (4) Dグループ：広島県
- 11月29日(水) 【地域産業・企業視察】マツダミュージアム
【地方自治体表敬訪問】【地域概要講義】広島市
- 11月30日(木) 【平和関連視察】広島平和資料館，原爆ドーム，平和記念公園
【平和関連講義】被爆体験講話
【歴史的建造物等視察】宮島，厳島神社
【地域産業・企業視察】宮島商店街
- 12月1日(金) 【文化体験】書道体験 筆の里工房
【学校交流】熊野高等学校
【ホームステイ対面式】熊野町
- 12月2日(土) 【ホームステイ】
- 12月3日(日) 【ホームステイ歓送会】
【ワークショップ】
- (5) Eグループ：長崎県
- 11月29日(水) 【地方自治体表敬訪問】諫早市役所
【歴史的建造物等視察】眼鏡橋，御書院
- 11月30日(木) 【地域産業・企業視察】おおむら夢ファーム・シュシュ
【学校交流】長崎県立諫早高等学校
- 12月1日(金) 【平和関連視察】平和公園，長崎原爆資料館
【平和関連講義】被爆体験講話
【文化体験】茶道・折り紙
【ホームステイ対面式】
- 12月2日(土) 【ホームステイ】
- 12月3日(日) 【ホームステイ歓送会】
【ワークショップ】
- 全グループ：地方プログラム終了後，12月4日に都内へ移動
- 12月4日(月) 【報告会】
- 12月5日(火) 【歴史的建造物等視察】浅草（モルディブ）
【都内視察】皇居東御苑，東京タワー（モルディブ）
- 12月4日（月）/12月5日（火）/12月6日（水）離日

3. プログラム記録写真

(全グループ：東京都訪問)



11/28 【日本理解講義／基調講演】



12/4 【報告会】

(Aグループ：青森県訪問)



11/29 【地方自治体表敬訪問】南部町



11/30 【地域産業・企業視察】Yahoo!株式会社・八戸センター



11/30 【学校交流】八戸学院大学



12/1 【文化体験】八幡馬絵付け体験



12/2 【ホームステイ】



12/3 【ワークショップ】

(Bグループ：福島県訪問)



11/29 【地方自治体表敬訪問】【地域概要講義】福島県庁



11/30 【文化体験】安達ヶ原ふるさと村 和紙工芸体験



11/30 【環境関連施設視察】環境創造センター・コミュタン福島



12/1 【学校交流】日本大学工学部



12/2 【ホームステイ】

(Cグループ：秋田県訪問)



12/3 【ホームステイ歓送会】



11/29 【地方自治体表敬訪問】秋田県庁	11/30 【学校交流】ノースアジア大学
	
11/30 【地域産業・企業視察】秋田酒類製造株式会社	12/1 【地域産業・企業視察】株式会社わらび座
	
12/1 【自然体験】田沢湖畔 (Dグループ：広島県訪問)	12/3 【ホームステイ歓送会】
	
11/29 【地域産業・企業視察】マツダミュージアム	11/30 【平和関連視察】平和記念公園
	
11/30 【歴史的建造物等視察】宮島、厳島神	12/1 【文化体験】書道体験 筆の里工房

社



12/1 【学校交流】熊野高等学校
(Eグループ：長崎県訪問)



12/3 【ホームステイ歓送会】



11/29 【歴史的建造物等視察】眼鏡橋、御書院



11/30 【学校交流】長崎県立諫早高等学校



12/1 【平和関連視察】平和公園



12/1 【文化体験】折り紙



4. 参加者の感想（抜粋）**（A グループ：岩手県訪問）****◆ モルディブ 大学生**

私のホストファミリーは最高でした。家族の本当の娘のように感じました。日本食、着物、温泉そして色々なことを体験できてとても幸運でした。日本人にはとても感激しました。これまでの生涯でこれほど礼儀正しく、行儀の良い人々を見たことがありません。モルディブの人もこのように振る舞うことができればいいと思いました。日本はとても安全で、どこで会っても挨拶をしてくれます。私達は、他の国では様々な違いから差別されることが多いですが、日本では皆が敬意を払ってくれました。日本は本当にすばらしいです。どの国も治安が良く、成功した国になるよう日本から学ぶべきです。日本とモルディブの関係を強化するために、大使になりたいです。その夢を実現するのが待ちきれない気持ちです。

◆ バングラデシュ 大学生

学校交流プログラムでは様々な体験ができ、日本人の学生と交流することができました。大学の施設や、どのような教材を使って学習しているかなど知ることができました。Yahoo! Japan の訪問では、また違った体験ができました。働く人にやさしい職場や、各職場のインテリアを見ることができ、従業員がどれほど楽しみながら仕事をしているかを知ることができました。南部町の副町長からの温かい歓迎の言葉によって、南部町をより身近に感じることができました。

（B グループ：福島県訪問）**◆ スリランカ 大学生**

日本大学工学部を訪問しました。学生はとても親切で、全ての体験と一緒に参加してくれ、楽しい時間を過ごすことができました。ロハスの家を作るなど、学生の先進的な精神に驚きました。日本銀行では偽札の見分け方を学び、自分たちのお金も確認しました。訪日団はみんな、これから偽札を見分けられると思います。

福島県庁訪問し、地震の恐ろしさを理解することができました。復興への努力に感服しました。TEPIA の先端技術ギャラリーでは、日本人の創造力を見ることができました。全ての展示物は優れていて印象に残りました。

◆ パキスタン 大学生

基調講義を通し、日本がなぜ平和で経済的に豊かであるか納得しました。日本の政策は現実的で予測不能な災害から日本を守っています。日本大学では技術力が経済に影響を与えることを学びました。ヤクルトの工場を見学したとき、幼稚園児が私たちと同じように見学に来ている姿を見かけました。これを見て、日本の教育は他の国よりも進んでいると思いました。企業訪問では、少ない人数で効率性を上げている様子を見学しました。ホームステイは言葉では表せないほど貴重で、プログラムで一番の経験となりました。喜多方市の皆さんのおもてなし、優しさは決して忘れません。ホストファミリーと別れる時には泣いてしまいました。

(C グループ：秋田県訪問)

◆ ネパール 大学生

会社や官公庁の勤務時間に驚きました。自分の国では、通常の就業時間は午前10時から午後4時ですが、日本では午前7時から午後11時まで働いていると知り大変驚きました。これが日本の成功の理由であると思いました。私にとって、ホームステイは初めての経験でした。初めは緊張しましたが、ホストファミリーに会ってすぐに緊張はなくなりました。ホストファミリーは親切で、謙虚で、丁寧で、愛情に満ちた人々でした。私は自分の家から遠く離れている事を感じることはありませんでした。家族は、私を本当の子供や家族であるかのように温かく接してくれました。ホームステイから日本人や日本の文化を学ぶことができました。

◆ ブータン 大学生

プログラム全体で一番印象に残ったのは、ホームステイでした。ホストファミリーは親切に接してくれ、たくさんのことを学びました。学校交流は、時間が限られていたので学生と十分に会話することができずとても残念でした。TEPIA では、日本人が開発した先端技術を見学し、自分の国が遅れていると感じました。又、多くの知識やアイデアを得ることが出来ました。大学名誉教授の講義では、日本の成功の鍵を学びました。日本経済には本当に驚かされました。秋田酒類製造株式会社は、日本酒の製造会社で、大変システム化されて素晴らしい会社でした。日本の酒造りは、ブータンの方法と良く似ています。両者の違いは、ブータンでは自宅用に少量生産をするのに対し、日本では大量の美味しい酒を生産します。最後に、私は日本様式、日本人の生活スタイルが大好きになりました。自分の国に何らかの変化をもたらせればと思います。又いつか日本に戻って来たいと思います。

(D グループ：広島県訪問)

◆ バングラデシュ 高校生

基調講演には大変啓発されました。バングラデシュでも実施できそうな、政府の重要な役割が語られていました。マツダ自動車訪問は凄かったです。マツダの歴史について学び、車の製造ライン、異なったモデルを見ることができました。今回のプログラムの中ではホームステイが一番の思い出となりました。受け入れてくれた日本の家族は素晴らしかったです。本当の家族のようでした。家族との時間は最高でした。別れの時はとても悲しかったです。また、このプログラムで良かったことは、他の SAARC の国々の人や日本人と交流し、新しい友達ができただけです。全体的に素晴らしい経験でした。

◆ パキスタン 高校生

基調講演では日本の文化や伝統についてたくさんを教えてもらいました。広島では被爆者の方の話を聞きました。学校交流は素晴らしかったです。日本の学生がどのように学んでいるか見られたことが最も印象的でした。ホームステイは日本での最も素晴らしい経験でした。ホストファミリーの家に滞在した日々が私の人生最高の日と言えます。バングラデシュ、モルディブ、ネパール、スリランカなど他の国々の人と会えたのは素晴らしいことですし、普段はできない経験でした。異なった文化を持つ別の国の人々と交流できたことは今までで最高

の経験です。せっかく友達になれたので、この友情関係を生涯続けたいと思います。

(E グループ：長崎県訪問)

◆ インド 高校生

講義では、日本経済の過去の歴史や日本が経済成長をどのように成し遂げたのか、といった日本経済についての新たな知識を得ることができました。景気回復のため、他の発展途上国と協力するとも話していました。学校交流では、文化、衣服、言語、スポーツについて日本の学生と話すことができました。また、さまざまな日本の歴史を体験することができました。柔道や弓道も見学しました。日本の企業はとても有能で、先端的で、時間管理がなされていました。企業訪問では非常に素晴らしい経験ができました。いろいろな技術や職員についても知ることができました。もう一つの思い出深い経験は、ホームステイです。ホームステイは日本の文化や人々に触れる機会となりました。時間管理や農家の人々が作る農産品についても知ることができました。

◆ ブータン 高校生

講義で最も印象に残ったことは、経済発展が速やかに進むように政府が民間企業をサポートしているということです。学校交流では日本人の友達ができ、良い友好関係が結べました。ホームステイでは、新しい家族に会うことができたので一番好きなプログラムとなりました。

5. 受入れ側の感想

◆ ホストファミリー (A グループ)

何でも積極的にやってくれました。日本の着物を着せてあげたところ、サリーを私たちに着せてくれ、とても嬉しかったです。訪日団のみなさんの優しさが、言葉が通じなくても伝わってきました。

◆ ホストファミリー (B グループ)

自然の美しさに感動してくれたことが良かったです。リンゴ畑での収穫作業が楽しかったようで、「こんな美味しいりんごは食べたことがない」と何度も言ってくれたことは寒い中で作業をする元気の素になりました。まだまだ本来の元気を取り戻せていない福島ですがとてもうれしい時間でした。「福島ファンになった」という言葉は宝物です。

◆ ホストファミリー (C グループ)

幸せの国から来た学生は、笑顔いっぱいであたちに接してくれ、母国語のゾンタを教えてくださいました。日本語と共通するものもあり、遠い異国をとて身近に感じた3日間でした。

◆ 学校交流関係者 (D グループ)

生徒の感想を見ると、交流が楽しく、今後は英語も勉強したいとありました。通常は英語ができないとしり込みしそうな場面でも、まずは相手が楽しんでくれていることを体験し、自分も楽しいと覚ることが英語をより学ばたいという意欲につながるのだと

今回の交流で感じました。

◆ 学校交流参加学生（E グループ）

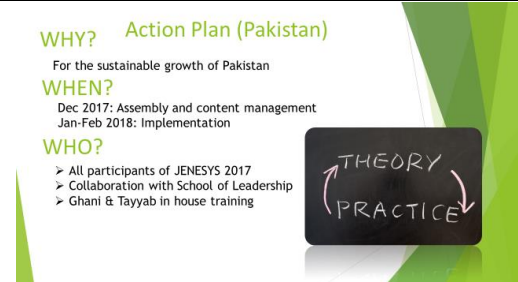
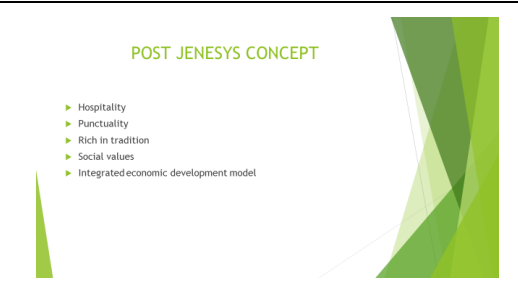
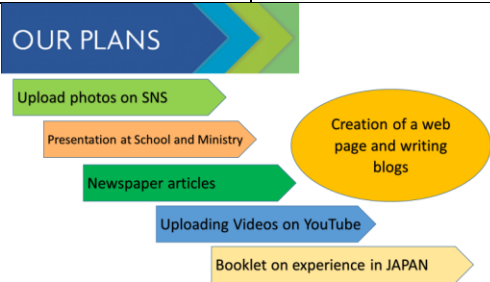
参加者のみなさんが自分の国のことにとっても詳しく、自分はそんなに話せるぐらいに日本について知識がないので、英語を学ぶことも大切だけれども自国の文化を学ぶことも大切だと思いました。実際に英語を使って楽しいことを体験すると、英語がどんどん好きになりそうです。

6. 参加者の対外発信

	
文化体験についての発信（Facebook） この素晴らしい国で芸術文化を体験できて嬉しかった	ホームステイについての発信（Facebook） 初めての着物、ホストファミリーとの楽しい時間
	

ホームステイについての発信（Facebook） この3日間、ホストファミリーはとても素晴らしい、すでに家族が恋しい	学校交流についての発信（Facebook） 県立諫早高校の学生との交流
--	--

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 Action Plan - Maldives Goal: reactivate the existing Japanese community in the Maldives through reorganization and engagement Activities - Cultural Night - Short Video Documentary - Japanese Club Establishment How we will measure success? - Number of people reached via outreach activities, such as the cultural night and video documentary - Registration of the club and establishing a member base	 WHY? Action Plan (Pakistan) For the sustainable growth of Pakistan WHEN? Dec 2017: Assembly and content management Jan-Feb 2018: Implementation WHO? ➢ All participants of JENESYS 2017 ➢ Collaboration with School of Leadership ➢ Ghani & Tayyab in house training THEORY PRACTICE
アクション・プランの発表 1（Aグループ） - 文化交流ナイトの実施（書道、折り紙、料理クラス、着物など） - ショートビデオの作成（YouTube, Facebook など）で公開する） - ジャパンクラブの設立	アクション・プランの発表 2（Bグループ） セミナーやワークショップを実施し、SNSで活動をフォローアップする。ワークショップの企画者は記事を書き、一般参加者にこのプロジェクトの重要な部分を広めるよう働きかける。
 Action Plan - Nepal • The culture, economic development and hard working people of Japan encourages us to spread the knowledge • General Election is going to be held in our country on December 7th 2017 and right after the elections, we would start our action plan • Target mainly high school students and University Students to encourage them to study in Japan and local peoples to visit Japan for Tourism purpose to see its Beauty • Promote Japanese culture, traditions and tourism to our Nation's people through PPT, Social medias and various gatherings • Conduct various programs in our respective Schools and Universities and try to publish articles in National and Local daily newspapers	 POST JENESYS CONCEPT ➢ Hospitality ➢ Punctuality ➢ Rich in tradition ➢ Social values ➢ Integrated economic development model
アクション・プランの発表 3（Cグループ） SNS や集会を通して、高校生・大学生には日本への留学を、一般の人々には日本への観光を勧める。 学校で様々なプログラムを実施し、全国紙や地方紙に記事を掲載する。	アクション・プランの発表 4（Dグループ） 経済、環境、社会の3つの分野をそれぞれ3ステージに分け、個人、学校のクラブや様々なグループ、更には自治体や様々な機関に働きかけて日本で学んだおもてなし、伝統や時間を守ることの大切さをそれぞれの国で広めていく。
 OUR PLANS - Upload photos on SNS - Presentation at School and Ministry - Newspaper articles - Uploading Videos on YouTube - Booklet on experience in JAPAN - Creation of a web page and writing blogs	
アクション・プランの発表 5（Eグループ） - SNS に写真を掲載し、日本に関する情報を発信する - 学校や省庁でプレゼンテーションを実施する - 新聞に記事を掲載する - ビデオを YouTube に掲載する - 日本での経験を小冊子にする	